

## 事務事業評価調書

担当課	建設水道部	建設課	農地整備係	事務事業No.	16213
事務事業名	農業用施設管理事業				
会計	一般会計		款 6	項 2	目 1
総合計画	まちづくりのテーマ 第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	79 頁
	施策目標 自然と共生した環境の創造				
	施策項目 自然環境の保全と共生				
個別計画					頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内に整備された農地においては、ほ場整備以降30年以上が経過しており、農業施設、用排水路施設や暗渠排水機能など老朽化が進み、維持管理に苦慮している。水路やほ場などの改修、整備を行い、農業の再編を図る。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>経年劣化等により老朽化する農業用施設等を、県営事業や交付金事業等を活用し水路等の改修や再ほ場整備を行い、安定した農業経営の実現と防災面での強化を図る。</li> </ul>	
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業用施設修繕工事 16箇所</li> <li>緊急修繕工事 10箇所</li> <li>県営ため池耐震化事業（居谷里1号・2号ため池）・・・負担金事業（全体事業費2億円 負担割合国55%、県34%、市11%）</li> <li>県営二重地区ほ場整備事業・・・負担金事業（全体事業費4億円 負担割合：国55%、県27.5%、市10%、地元7.5%）</li> </ul>				

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	総事業費（決算額）			56,274,141 円	49,559,399 円	68,167,907 円			
財源内訳	特定財源		22,500,000 円	22,250,000 円	14,276,853 円				
	一般財源		33,774,141 円	27,309,399 円	53,891,054 円				
活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	緊急修繕工事	箇所	19	23	10	20	50.0%	20
	②	農業用施設整備	箇所	3	7	16	5	320.0%	5
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	農業用施設整備延長	m	40	30	94	100	94.0%	100
	②	美麻二重地区ほ場整備進捗率（事業費）	%	32	57	74	75	98.4%	完了
	③	居谷里1号2号ため池耐震化事業（事業費）	%	-	10	54	38	141.8%	完了
	2. 数値で表せない効果		（指標①）自治会、地元農家、土地改良区より、降雨等の自然災害の影響や経年における施設老朽化を原因とする農業施設の改修について要望が多いため、県営事業や市単独事業を進めて、安定した農業経営の実現に取り組んでいる。						

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である			
点数	3	3	3	3	2	3	18			
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地元からの要望が高い。</li> <li>○農村地域の過疎化・高齢化が進む中で、農地再編は必要不可欠である。</li> </ul>									

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物の安定生産に必要な用水を供給する農業水利施設の多くが、耐用年数を超過する時期を迎えており、更新整備や長寿命化が急務となっている。また、農村地域の過疎化・高齢化が進む中で、多様な担い手による農地利用を促進するためにも、長野県や土地改良区、庁内関係部局等と役割分担を図り、効率的に更新整備や長寿命化の計画を進める必要がある。</li> </ul>
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業用水利施設の規模や造成主体に応じた国、県、市、土地改良区の役割分担により、コスト縮減を図りながら効率的な長寿命化を進める。</li> </ul>

# 事務事業評価調書

担当課	建設水道部	建設課	建設係	事務事業No.	18221		
事務事業名	道路維持管理事業						
会計	一般会計	款	8	項	2		
				目	2		
総合計画	まちづくりのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画掲載頁	85	頁
	施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備					
	施策項目	安全で快適な道路整備・維持管理					
個別計画	「舗装長寿命化修繕計画」「橋梁長寿命化修繕計画」「トンネル等長寿命化修繕計画」					頁	
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）			
	幹線道路及び生活道路（総延長約866km）における舗装及び道路施設（橋梁、トンネル、側溝等）			道路利用者の安全で快適な移動の確保及び道路環境の保全			
主な業務内容	幹線道路については、「舗装長寿命化修繕計画」に基づき計画的に修繕を実施。また、比較的交通量の少ない生活道路については、日常的点検や地域要望を踏まえ、道路施設（側溝等）を含め緊急にに応じ修繕を実施。橋梁やトンネル等の重要構造物については、「橋梁・トンネル等長寿命化修繕計画」に基づき計画的に予防修繕を実施するとともに、5年サイクルの全箇所点検（橋梁334・トンネル6）を実施。						

## 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	総事業費（決算額）		167,659,370 円		187,971,575 円		183,901,102 円		
財源内訳	特定財源		82,604,307 円		68,269,808 円		85,647,902 円		
	一般財源		85,055,063 円		119,701,767 円		98,253,200 円		
活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	単位		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	維持工事（舗装・側溝等）	路線	12	22	9	15	60.0%	7
	②	長寿命化修繕工事（橋梁等）	箇所	1	1	0	1		6
③					※次年度繰越あり				
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	維持工事（舗装・側溝等）	km	1.4	1.4	1.0	2.0	50.0%	1.0
	②	長寿命化修繕工事（橋梁等）	箇所	1	1	0	1		6
③					※次年度繰越あり				
2. 数値で表せない効果									
(指標①) 道路利用者の安全性及び快適性の向上									

## 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
		評価	高い	高い	高い	重複なし	普通			
	点数	3	3	3	3	2	3	継続	17	
									18	
評価理由	令和2年の自治会等からの道路及び水路に係る陳情書の内訳をみると、陳情総数402箇所のうち約33%が道路維持管理事業関連で高い市民ニーズが認められる。事業成果としては、平成30年度より表層のみの打ち換えが新たに対象となった「公共施設等適正管理推進事業債」を積極的に活用し、舗装修繕事業を推進したほか、橋梁・トンネルの長寿命化についても補助金を活用し、計画的に予防修繕事業を推進した。									

## 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<p>舗装修繕については、前記事業債のほか社会資本整備総合交付金を活用しているが、近年、要望額に対する内示率が著しく低下（令和3年度・3.8%）しており、市の財政負担が増している。なお、橋梁・トンネル修繕については、100%近い内示を受けている。</p> <p>橋梁修繕については、道路法に基づく全箇所点検により、Ⅲ判定（早期予防措置段階）の橋梁（=36橋）について修繕事業を進めているが、水利調整が困難で施工時期が見通せない施設や、山間部等で通行量が少なく維持管理も含め地元調整が必要な施設が複数存在する。</p>
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
<p>舗装修繕については、引き続き「公共施設等適正管理推進事業債」を積極的に活用し事業推進を図るとともに、積極的な国への要望活動を継続する。</p> <p>橋梁修繕については、地元調整を密に行い、将来的な維持管理戦略の構築を図る。</p>

## 事務事業評価調書

担当課	建設水道部	建設課	建設係	事務事業No.	18222
事務事業名	交通安全施設整備事業				
会計	一般会計	款	8	項	2
		目	2		
総合計画	まちづくりのテーマ 第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	85 頁
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備				
施策項目	安全で快適な道路整備・維持管理				
個別計画	「大町市通学路交通安全プログラム」				
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）		
	幹線道路及び生活道路における歩行者空間		安心・安全な歩行者空間の整備		
主な業務内容	通学路については、大町市通学路安全推進会議（教育委員会、市内小学校、警察、道路管理者）による合同点検及び交通安全プログラムの見直し（年1回）を踏まえ、計画的な歩道の新設やグリーンベルト等の交通安全施設整備を実施。また、保育所等のお散歩ルートについては保育所、警察、道路管理者の合同点検により危険個所の対応策を取りまとめ、横断歩道待場の拡幅やガードポスト等の交通安全施設整備を実施。その他の路線については、日常点検や地域要望等を踏まえ、危険度及び緊急度に応じ計画的に歩道の新設や交通安全施設（ガードポスト、外側線等）整備を実施。				

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	総事業費（決算額）			71,387,054 円	98,551,245 円
財源内訳	特定財源		31,449,000 円	33,380,000 円	61,427,000 円
	一般財源		39,938,054 円	65,171,245 円	47,576,033 円

  

活動指標	指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	区画線等路面標示の更新	km	13.3	8.4	7.8	10.0	78.0%	8.0
②	歩道新設整備	路線	3	1	1	2	50.0%	1
③	グリーンベルト整備	路線		3	4	3	133.3%	3

  

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	区画線等路面標示の更新	km	13.3	8.4	7.8	10.0	78.0%	8.0
	歩道及び簡易歩道整備率	%	35.7	46.4	52.9	48.0	110.2%	53.5
2. 数値で表せない効果								
（指標①）陳情箇所での地域住民との立会いや、学校・保育所等関係者との合同点検を通じ、歩行者の注意すべき点を助言することで交通安全の向上が図られている。								

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化		
		評価	高い	高い	高い	一部重複	普通		
点数	3	3	3	2	2	3	18		
評価理由		通学路や保育所等のお散歩ルートでの交通事故が国内で頻発しており、全国的に安心・安全な歩行空間の整備が求められている。また、令和2年の自治会等からの道路及び水路に係る陳情書の内訳をみると、陳情総数402箇所のうち約25%が交通安全施設整備事業関連で高い市民ニーズが認められる。事業成果としては、「大町市交通安全プログラム」に基づき、計画的に歩道やグリーンベルトの新設事業を推進したほか、保育所等のお散歩ルート要対策箇所については全て対策済。							

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
現在、市内小・中学校通学区域等の再編に関わる検討が進められていることから、将来的に「大町市通学路交通安全プログラム」の大幅な見直しが想定される。
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
当面、関係機関と連携した合同点検の充実を図るほか、日常点検や地域要望等を踏まえ、危険度や緊急性に応じた、きめ細やかな交通安全対策を推進する。

## 事務事業評価調書

担当課	建設水道部	建設課	建設係	事務事業No.	18232
事務事業名	道路新設改良事業				
会計	一般会計	款	8	項	2
				目	3
総合計画	まちづくりのテーマ 第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画掲載頁	85
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備				
施策項目	安全で快適な道路整備・維持管理				
個別計画					
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）		
	幹線道路及び生活道路		道路利用者の安全で快適な移動の確保と円滑な道路ネットワークの構築		
主な業務内容	日常点検及び地域要望を踏まえ、整備効果や緊急度を精査し、計画的に道路改良事業を実施。				

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度			
	総事業費（決算額）		88,507,604	219,537,669	96,084,508	円			
財源内訳	特定財源		52,115,000	119,986,000	70,820,000	円			
	一般財源		36,392,604	99,551,669	25,264,508	円			
活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	単位		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	道路新設改良工事	箇所	3	6	8	6	133.3%	5
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	道路新設改良工事	km	0.2	1.5	0.8	0.7	114.3%	0.5
	②								
2. 数値で表せない効果		（指標①）幹線道路及び生活道路の安全性及び利便性の向上							

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化		
	評価	高い	高い	高い	一部重複	普通	適正である		
点数	3	3	3	2	2	3	18		
評価理由	地域要望（38路線）を踏まえ、整備効果の高い路線を精査し、部分改良（待避所、視距改良等）も含め道路改良事業を推進した。								

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b> 道路新設改良事業については、工事費用のほか用地取得、物件移転補償費等が必要となることから、社会資本整備総合交付金を活用しても市の財政負担が大きい。
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b> 改良候補路線の通行環境や交通安全上の課題等を精査し、交通安全施設整備との連動を含め、地域と連携を図りつつ、低コストかつ迅速な道路改良事業を推進する。

## 事務事業評価調書

担当課	建設水道部	建設課	維持係	事務事業No.	18241
事務事業名	雪害対策事業				
会計	一般会計	款	8	項	2
				目	4
総合計画	まちづくりのテーマ 第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画掲載頁	85
	施策目標 暮らしやすい都市基盤の整備				
	施策項目 安全で快適な道路整備・維持管理				
個別計画					
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どうい状態にしたいのか）		
	市道（幹線道路、歩道を含む生活道路）の除排雪及び凍結防止剤散布		<ul style="list-style-type: none"> <li>・除排雪の充実による安全かつ安心な交通確保</li> <li>・除雪機械の計画的な整備、更新及び貸与による除雪業者の経営負担を軽減</li> <li>・凍結防止剤散布によるスリップ事故の防止</li> </ul>		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道867kmの内除雪延長423.7km（大町地区325.6km 美麻地区48.0km 八坂地区50.1km）</li> <li>・市道・国道の歩道除雪延長46.6km（大町地区42.9km 美麻地区3.7km）</li> <li>・除雪委託業者69者（業者44社 自治会25者）</li> <li>・業者等への貸与する除雪機械の購入</li> </ul>				

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度			
	総事業費（決算額）		216,310,549 円	168,107,600 円	265,157,423 円	達成率			
財源内訳	特定財源		26,568,000 円	37,614,000 円	30,336,000 円	次年度（R3）			
	一般財源		189,742,549 円	130,493,600 円	234,821,423 円	目標値			
活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	単位		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	除雪延長	km	471.4	470.8	470.3	469.0	99.7%	469.0
	②	（車道）	km	426.4	425.8	423.7			
③	（歩道）	km	45.0	45.0	46.6				
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	除雪委託者	者	72	73	69	73	94.5%	69
	②	除雪機械総数	台	61	62	63	63	100.0%	64
③									
2. 数値で表せない効果									
（指標①）・近年、気候の変化により降雪量が減少し、除雪費が軽減されている。 ・除雪機械の購入について交付金の要望により特定財源を確保することができた。									

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である			
点数	3	3	3	3	2	3	18			
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期道路交通確保は除排雪や路面の凍結防止を行うことで、市民生活における交通が円滑に行われる。</li> <li>・道路除雪延長は地域の生活、経済活用の維持に留意しつつ、代替ルートがある場合等においては、計画的に冬期の道路サービス水準を下げ、場合によっては除雪を行わず冬期に通行不能とする区間を設けることも考えられる。</li> </ul>									

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業員の高齢化が進む中で、技術を持ったオペレーターが減少し、人材の確保が難しい。</li> <li>・近年、暖冬による雪不足に伴う業務量の大幅な減少に加え、除雪機械の老朽化による維持経費等の負担増加など、今後の除雪業務の継続とともに、冬期の安全な交通環境の確保に深刻な影響が懸念される。</li> </ul>
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
○除雪を委託される建設業者の経営状況は厳しさを増しているため、継続的な除雪体制を維持するため、除雪計画に沿いより低コストで事業効果を上げる除雪体制を建設業組合等と検討していく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪基準及び除雪路線の見直しによる除雪規模の縮小化</li> <li>・小雪時における除雪業者への除雪基本料又は、最低補償制度等の導入検討</li> <li>・除雪機械の貸与</li> </ul>

## 事務事業評価調書

担当課	建設水道部	建設課	農地整備係	事務事業No.	18311
事務事業名	水路維持改良事業				
会計	一般会計	款	8	項	3
				目	1
総合計画	まちづくりのテーマ 第3節 だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画掲載頁	77
施策目標	市民生活の安全の確保				
施策項目	災害に強いまちづくりの推進				
個別計画					
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常点検や地域要望に基づき、老朽化した水路等の更新や改修を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した用水路に起因する漏水、溢水被害を防止し、宅地や農地を守る。</li> </ul>		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が管理する河川および市街地における水路の改修・修繕工事を実施。  水路改良工事 7箇所  水路修繕工事 19箇所</li> </ul>				

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度		
	総事業費（決算額）		23,484,007 円	41,118,619 円	21,574,625 円	達成率		
財源内訳	特定財源		13,000,000 円	19,000,000 円	8,000,000 円	次年度（R3）		
	一般財源		10,484,007 円	22,118,619 円	13,574,625 円	目標値		
活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	改良工事	5	20	7	8	87.5%	8
	②	修繕工事	24	30	19	29	65.5%	20
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	改良延長	0.18	0.42	0.36	0.50	72.8%	0.50
	②							
	③							
	2. 数値で表せない効果							
(指標①)								

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化		
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である	継続	17
点数	3	3	3	3	2	3		18	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>水路の老朽化に伴う漏水、溢水被害については、市民からの要望も多く、また、水路等のゴミつまりなど維持管理に関する問い合わせも年々増加傾向にある。</li> </ul>								

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>日常点検や管理は地元住民にお願いをしているが、年々、用水路等の継続的な管理が困難となり、ゴミ上げや畦草の繁茂による溢水被害の発生が顕著となっている。</li> </ul>
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえ次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>農水省の補助金事業（多面的交付金事業など）を活用し、土地改良区や地元農家との連携強化を図りながら適正な維持管理を行う。</li> </ul>

## 事務事業評価調書

担当課	建設水道部	建設課	農地整備係	事務事業No.	18313
事務事業名	雨水対策整備受託事業				
会計	一般会計	款	8	項	3
				目	1
総合計画	まちづくりのテーマ 第3節 だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	77
施策目標	市民生活の安全の確保				
施策項目	災害に強いまちづくりの推進				
個別計画	大町市雨水整備基本計画				頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地において、近年、頻発する集中豪雨等に起因する冠水被害を防止するため、市街地に流入する用水の抑制を目的としたバイパス管の設置をする。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地へ流入する水の抑制対策をすることにより、市民の生命や財産を守ると共に道路等の都市機能の保全を図る。</li> </ul>	
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨水バイパス管渠工事（Φ1100mm、全延長 L=620.2m） 令和元年度実績 L=144.6m（管渠工事は全線完了） 令和2年度実績 L=387.7m A=2647㎡（舗装復旧工事）</li> </ul>				

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	総事業費（決算額）			51,514,780 円	78,455,820 円	17,834,000 円			
財源内訳	特定財源		51,514,780 円	78,455,820 円	17,834,000 円				
	一般財源								
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	基本計画策定	式	H28完了	H28完了	-	-	-	-
	②	調査・実施設計	式	完了	-	-	-	-	-
③	管路工事	工区	1	完了	-	-	-	-	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	管路工事（累計）	m	471	620	-	-	-	-
	②	舗装復旧	㎡	-	-	2,647	2,608	101.5%	1,255
	③								
2. 数値で表せない効果（指標①）									

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である			
点数	3	3	3	3	3	3	18			
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年3月でバイパス管工事が全線完了し、中心市街地の被害抑止対策にむけた準備が整った。</li> <li>今後、建設課としては、土地改良区と連携をした人的な水利調整を踏まえ一層の冠水被害抑制に努めたい。</li> <li>本年度、舗装本復旧事業については、すべて完了することはできないが、R2年度予算繰越事業で舗装本復旧事業を継続して取り組みたい。</li> </ul>									

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の雨水管渠整備については、公共下水道の雨水整備計画に位置づけられており、上下水道課において検討をし対応を進める必要がある。</li> <li>市内における雨水整備に関しては平成26年より雨水渠バイパス管整備に着手し、令和元年度に管渠整備が終了をして、流下能力不足箇所の解消に関しては、概ね終了をしている。今後、年々増大する異常降雨にも対応をするために、緊急的な浸水被害の低減・解消が急務となっている。</li> </ul>
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
<ul style="list-style-type: none"> <li>土地改良区等の水路管理者との連携を強化し、異常降雨時に農業用ため池や取水施設の取水調整を行い、浸水被害の防止を図る。</li> </ul>

## 事務事業評価調書

担当課	建設水道部	建設課	計画係	事務事業No.	18413
事務事業名	おたんじょ桜事業				
会計	一般会計	款	8	項	4
				目	1
総合計画	まちづくりのテーマ 第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	83
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備				
施策項目	魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進				
個別計画					
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民を挙げて次代を担う児童の出生を祝い、これを記念して桜の植樹を進める。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>さくらの里づくりを目指し、桜の名所の形成を図り児童の健全育成と健康で文化的な都市環境の整備を図る。</li> </ul>		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○記念植樹会（毎年10月下旬～11月上旬 実行委員会主催） <ul style="list-style-type: none"> <li>各小学校へ入学した市内の小学1年生児童を対象（植樹1本/1クラス）</li> <li>樹種：オオヤマザクラ・本数：9～10本/年</li> </ul> </li> <li>○桜維持管理業務（※国営公園を除く植樹箇所） <ul style="list-style-type: none"> <li>草刈り、施肥、灌水、害虫駆除、生育調査他</li> </ul> </li> </ul>				

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	総事業費（決算額）		1,127,636	1,226,023	1,263,075				
	財源内訳								
	特定財源	円	円	円					
	一般財源	1,127,636	1,226,023	1,263,075	円				
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	記念植樹会の開催数	回	1	1	1	1	100.0%	1
	②	おたんじょ桜管理業務施設数	箇所	7	7	7	7	100.0%	7
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	植樹本数（累積本数）	本	367	376	383	383	100.0%	392
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果									
（指標①）児童の健全育成と健康で文化的な都市環境の整備により、シビックプライドの醸成による定住やまちづくり活動に寄与する。									

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				16
	点数	高い	高い	高い	一部重複	高い	改善の余地あり				継続
	評価理由	さくらの里づくりを進めて21年が経過し、順調に整備がされてきている。今後も継続し、桜の名所の形成を図り都市緑化の整備を進める。しかしながら、これまで、植樹した桜の現状があまり認知されていないこともあり、植樹した子供たちが成人となった節目に告知等を行い、まちづくり活動の醸成にもつなげたい。									

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
これまで、市内の都市公園や市道沿線等における公共用地に植樹を行ってきたが、今後、記念植樹に相応しい場所の選定が課題となる。また、少子化により新入生クラスが減少し、植樹会の開催方法を関係各課と連携を取り検討する必要がある。
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
児童の健全育成や郷土愛を育み、新たな桜の名所の形成を図るとともに、既存の桜の名所等の保全に向けた事業の活用についても検討を進める。



## 事務事業評価調書

担当課	建設水道部	建設課	計画係	事務事業No.	18422
事務事業名	街路整備事業				
会計	一般会計	款	8	項	4
				目	2
総合計画	まちづくりのテーマ 第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画掲載頁	84
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備				
施策項目	都市構造を支える幹線道路網の構築・整備促進				
個別計画	大町市都市計画マスタープラン				42
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）		
	主要幹線道路を補完して地域間の流動を担う、比較的交通量が多い道路である。		市民生活に必要な走行性、安全性を確保した道路整備を進める。		
主な業務内容	○（街）中央通り線（（主）長野大町線）北大町工区 整備区間：大町文化会館入口交差点南～若一王子神社入口 事業規模：L＝約450m・W＝16m 全体事業費：C＝971,479千円（うち市負担金10%から15%） ○（街）館ノ内借馬線（（主）大町明科線）松崎工区 整備区間：旭町交差点（旭橋）～社会就労センター南 事業規模：L＝約280m・歩道設置（片2.5m） 全体事業費：C＝200,000千円 （うち市負担金10%から15%）				

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	総事業費（決算額）		19,412,197 円		22,045,627 円		24,366,356 円		
	財源内訳	特定財源	円		円		円		
一般財源		19,412,197 円		22,045,627 円		24,366,356 円			
活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	中央通り線 整備延長 <small>（事業費換算）</small>	Km	0.28	0.37	0.42	0.42	100.0%	0.45
	②	館ノ内借馬線 整備延長 <small>（事業費換算）</small>	Km	-	0.01	0.04	0.05	80.0%	0.10
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	中央通り線 整備率 <small>（事業費換算）</small>	%	60	82	92	92	100.0%	100
	②	館ノ内借馬線 整備率 <small>（事業費換算）</small>	%	-	4	9	9	100.0%	40
	③								
2. 数値で表せない効果									
（指標①）中央通り線：都市間の幹線道路機能の充実が図られる。 館ノ内借馬線：歩道設置による安心・安全の確保が図られる。									

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である			
点数	3	3	3	3	2	3		18		
評価理由	見込まれた電力需要などから無電柱化整備が困難という結論に至り、整備方針が道路整備中心となったことから、事業費の縮減と早期に整備が進むと考えられる。									

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b>
事業主体の長野県や電力・通信事業者との協議により、無電柱化が困難となり整備計画も具現化された。順調に進めば、R4年度完了見込みである。
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>
残りわずかとなった用地補償が円滑に進み、早期に完成出来るよう市としても積極的な協力を行う。

## 事務事業評価調査

担当課	建設水道部	建設課	維持係	事務事業No.	18431
事務事業名	公園管理事業				
会計	一般会計	款	8	項	4
				目	3
総合計画	まちづくりのテーマ 第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画掲載頁	85
	施策目標 暮らしやすい都市基盤の整備				
	施策項目 潤いのある公園・緑地の整備推進				
個別計画					
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）		
	公園利用者に利便や快適性を与え安全に公園を利用していただくための適切な維持管理		公園の維持管理を適切に行うことにより、市民が安心して使用ができ、やすらぎと潤い（憩い）をあたえる		
主な業務内容	都市公園6箇所：大町公園、西公園、高瀬渓谷緑地公園、大町文化公園、駅前広場公園、やしろ公園 その他公園6箇所：八日町P.P、五日町P.P、山下P.P、青島公園、木崎湖園地、市民の森 ・遊具、建物等の施設の維持修繕 ・遊具点検 ・植栽帯の管理				

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	総事業費（決算額）		25,445,963 円	28,952,361 円	27,438,958 円			
	財源内訳	特定財源	127,578 円	136,622 円	250,219 円			
		一般財源	25,318,385 円	28,815,739 円	27,188,739 円			
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	施設の維持修繕	箇所	14	14	14		14
	②	遊具の安全点検	箇所	36	36	34		34
③	植栽帯の管理	箇所（公園）	12	12	12		12	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①							
	②							
③								
2. 数値で表せない効果								
（指標①）遊具の安全点検結果により、修繕できる遊具については対応。修繕できない遊具2箇所については令和2年度に撤去。								

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	改善の余地あり			
	点数	3	3	3	3	3	2		18	
評価理由		・公園利用者に利便や快適性を与え安全に公園を使用していただくために、適切な公園の維持管理が必要。 ・近年、保育園や小学校に遊具施設がないため、多くの子供が公園の遊具を求めている。 ・災害時には避難地としての利用も考えているので、適切かつ効率的な施設管理が求められる。								

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b>
・大町市の公園施設は、昭和40年代から平成初期に建設され、設置から30年以上経過した施設がほとんどであり、全体的に老朽化が激しい。今後、大きな修繕費が必要とされる公園遊具、建築物の更新計画及び修繕工事を実施するには、国の補助金を有効に利用し長寿命化修繕計画策定を行い施設の更新等を平準化することが必要。
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえた次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>
・公園長寿命化計画策定に向け、計画の基になる公園台帳を既存のGISを利用し図面及び台帳のデジタル化を図り作成する。 ・公園台帳及び遊具の定期点検結果を基に、公園施設全体の診断を行い、今後、大きな修繕費が必要とされる公園遊具や建築物の費用の平準化を図る。 ・都市公園については、長寿命化計画策定費用、計画に基づく修繕及び更新費用を補助対象にできる。（補助率1/2）

## 事務事業評価調書

担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係	事務事業No.	18443	
事務事業名	住宅・建築物耐震化推進事業					
会計	一般会計	款	8	項	4	
				目	4	
総合計画	まちづくりのテーマ	第3節 だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画掲載頁	77
	施策目標	市民生活の安全の確保				
	施策項目	災害に強いまちづくりの推進				
個別計画	大田市耐震改修促進計画				頁	
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和56年以前に建設された住宅・建築物の耐震診断</li> <li>・所有者が行つ耐震改修工事に要する費用に対し、補助金を交付する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化することにより、市民の生命及び財産を守る。</li> <li>・耐震化することにより、震災による被害を最小限にする。</li> </ul>		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅耐震診断 昭和56年以前に建設した木造在来工法の住宅の耐震診断 所有者負担なし 診断件数 17件</li> <li>・住宅耐震改修 診断の結果、耐震改修が必要と判断された住宅の耐震補強工事等への補助 改修3件 建替1件</li> </ul>					

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度		
	総事業費（決算額）		6,100,000 円	8,155,000 円	5,024,000 円			
財源内訳	特定財源		4,575,000 円	6,115,750 円	3,767,250 円			
	一般財源		1,525,000 円	2,039,250 円	1,256,750 円			
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	広報掲載	回	1	1	1	100.0%	1
	②	制度周知回覧チラシ	枚	1,200	1,200	1,200	100.0%	1,200
③	制度案内通知	件	10,000	10,000	10,000	100.0%	10,000	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	住宅耐震診断	件	20	18	17	56.7%	30
	②	住宅耐震改修	件	5	7	4	40.0%	7
	③							
2. 数値で表せない効果		(指標①)						

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化		
	評価	高い	低い	高い	重複なし	高い	適正である		
点数	3	1	3	3	3	3		18	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震災害に対して市民の生命及び財産を守るとともに、震災による被害を最小限にとどめることを事業の目的としていることから、事業の必要性は高いが、市民ニーズは低調である。</li> <li>・災害に強いまちづくりの推進に有効な事業である。</li> <li>・事業費の4分の3の特定財源（2分の1は国庫補助金、4分の1は県補助金）があり、事業の効率性は高い。</li> </ul>								

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の耐震改修については、多額の工事費を要することから伸び悩んでいる。</li> <li>・人口減少、核家族化、後継者（跡継ぎ）の不在等にも起因し、住宅の改修（建替え）が進んでいない。</li> <li>・古いブロック塀等については、劣化や鉄筋の不足等により地震時に倒壊のおそれがあるが、点検及び改修が進んでいない。</li> </ul>
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化を促進する取組を規定した「住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2021」を策定し、耐震改修等に係る支援目標を設定するとともに、実施・達成状況を把握・検証・公表し対策を進める。</li> <li>①耐震診断受診件数を増やす取組（広報紙及びリーフレットによる広報、周知、啓蒙活動 戸別訪問により受診を促す取組）</li> <li>②耐震改修に結び付ける取組（耐震診断結果報告時に耐震改修を促進 耐震改修未施行者の戸別訪問等により耐震改修促進）</li> <li>・県、建築士会と協調して、ブロック塀等の安全点検を行い実態を把握し、所有者等に解体、改修を促す。また、解体、改修を促す施策として、助成制度創設を検討する。</li> </ul>

## 事務事業評価調査

担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係	事務事業No.	18447	
事務事業名	安心・安全住宅リフォーム支援事業					
会計	一般会計	款	8	項	4	
				目	4	
総合計画	まちづくりのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画掲載頁	89
	施策目標	快適な生活環境の形成				
	施策項目	住宅環境の向上				
個別計画					頁	
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）		
	市民が施工業者に依頼して行う住宅リフォーム工事に要する費用に対し、補助金を交付する。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の性能向上を図るリフォーム工事を支援することで、良質な住宅ストックの形成、定住促進を図る。</li> <li>・住宅の性能向上を図るリフォーム工事を支援することで、市内経済の活性化に寄与する。</li> </ul>		
主な業務内容	○事業概要					
	住み慣れた住宅の性能や機能の向上を図る住宅リフォーム工事（省エネルギー型、環境負荷低減型、防災型）、住宅リフォーム工事と合わせて行う外構等性能向上工事を、市内の施工業者に依頼して行う場合、その経費の一部を補助する。					
	○補助金額					
	・住宅性能向上工事を含む住宅リフォーム工事（補助率：20%、限度額：200千円）					
	・防災減災型外構工事（補助率：20%、限度額：100千円）					

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	総事業費（決算額）			円	円
財源内訳	特定財源		円	円	3,800,000 円
	一般財源		円	円	24,829,000 円

  

活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	住宅リフォーム	件			167	130	128.5%	145
②	補助金交付額	千円			28,629	25,000	114.5%	25,000
③								

  

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	経済波及効果(対象工事費)	千円			199,169	175,000	113.8%	175,000
②	経済波及効果(対補助額割合)	倍			6.96	7.00	99.4%	7.00
③								

  

2. 数値で表せない効果  
(指標①)

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である			
点数	3	3	3	3	2	3			18	

  

評価理由

- ・補助金の交付により、住宅リフォームが促進され、良質な住宅ストックの形成、定住促進が図れるとともに、市内経済の活性化に相当の波及効果がある。
- ・環境改善等行政が取り組むべき課題、政策の推進が図れる。
- ・新型コロナ克服戦略 おおまち再生プランに安心で安全な潤いのある暮らしの再生として住宅リフォーム支援を充実策として掲げ、新たな申請が見込まれたことから、補正予算を計上し予算現額を30,000千円とした。
- ・令和2年度においては、事業費の一部に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当した。

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前身の住宅性能向上リフォーム支援事業は補助金交付要綱で令和元年度までの時限事業としており満了した。</li> <li>・近年多発する自然災害の防災、減災の観点、周辺住環境を改善する観点から、住宅リフォーム工事に合わせて行う防災減災型外構工事を補助対象経費に加え、「安心・安全住宅リフォーム支援事業」として創設した。</li> <li>・令和元年、2年度の申請状況を見ると、リフォーム需要は減少している。</li> <li>・当事業における類型別の施行状況を見ると、防災型が極端に少ない件数となっている。</li> </ul>
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人資産の価値が向上する側面のある事業であること、財源がすべて一般財源であることから（令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当）恒久施策とせず、事業期間を3年間、令和4年度までとする。</li> <li>・防災減災型外構工事の申請件数が伸び悩んでいるが、防災減災の観点から当該補助事業を活用して雨水貯留施設を設置するなど流域治水を図っていく。</li> </ul>

## 事務事業評価調書

担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係	事務事業No.	18512	
事務事業名	住宅管理費					
会計	一般会計	款	8	項	5	
		目	1			
総合計画	まちづくりのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画掲載頁	89
	施策目標	快適な生活環境の形成				
	施策項目	住宅環境の向上				
個別計画	大町市営住宅等整備計画					頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営住宅 住宅に困窮する低所得者に低廉な家賃で賃貸する。</li> <li>雇用促進住宅 勤労者に住宅を賃貸する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。</li> <li>勤労者の生活及び就業の安定を図る。</li> <li>適切な維持管理を行う。</li> <li>市営住宅等整備計画に基づき住宅の整理統合、施設改修等を計画的に実施する。</li> </ul>		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営住宅建物表題登記業務（西平、中村、本村団地）</li> <li>市営住宅借馬団地（第1工区）機械設備改修工事設計業務（借馬団地34戸実施設計）</li> <li>市営住宅屋根塗装修繕工事（大新田団地10戸、中村団地3戸の屋根塗装）</li> </ul>					

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度						
	総事業費（決算額）		68,301,897	円	82,036,059	円	34,505,812	円					
財源内訳	特定財源		68,301,897	円	82,036,059	円	34,505,812	円					
	一般財源			円		円		円					
活動指標	指標名		平成30年度	実績値	令和元年度	実績値	令和2年度	実績値	令和2年度	目標値	達成率	次年度（R3）	目標値
	①	リフォーム施工戸数	戸	10	10								34
	②	用途廃止住戸移転件数	戸	6	27	17	20	85.0%					30
	③	譲渡戸数(対象戸数30戸)	戸				5						5
	④	新設団地用地選定庁内検討委員会	回			2	3	66.7%					4
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）					
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値					
	①	リフォーム率(戸数125戸)	%	8.00	16.00	16.00	100.0%	43.20					
	②	用途廃止住戸入居率(戸数202戸)	%	67.82	54.95	46.53	96.8%	31.68					
	③	譲渡率(戸数30戸)	%			16.67		16.67					
④		2. 数値で表せない効果 (指標①)											

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	普通	普通	高い	重複なし	普通	適正である			
点数	2	2	3	3	2	3		18		
評価理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>建物表題登記業務については、住宅譲渡に向けての事前手続きであり、目的達成のために必要な事業である。</li> <li>市営住宅屋根塗装修繕を施行し、施設の長寿命化を図った。</li> <li>リフォーム工事の施行により、住環境の向上、施設の長寿命化が図れ有効性の高い事業であり、令和2年度は借馬団地改修工事の実施設計を実施した。</li> <li>公営住宅ストック総合改善事業においては、対象工事費等の2分の1相当額の交付金が見込まれ、事業の効率性は高い。</li> </ul>								

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>市営住宅等整備計画において、大原2号団地（90戸）、借馬団地（109戸）等を用途廃止とし、近接する市営及び県営住宅への移転の斡旋を進めているが、入居者の状況や生活環境などにも配慮する中で、当初の計画年度を超えた一定の時間を要している。</li> <li>市営住宅等整備計画において、中心市街地への新設団地（1団地50戸程度）を計画しており、建設候補地の抽出をしているが、用地選定、決定に至っていない。</li> </ul>
改善の方法等（上記の課題をふまへ次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者との面談を行い、移転先について調整し、用途廃止計画の推進を図る。</li> <li>新設団地の用地について、令和3年度中に候補地を決定し、具体的な整備計画の策定を行う。</li> </ul>

## 事務事業評価調書

担当課	建設水道部	建設課	計画係	事務事業No.	184211
事務事業名	コンパクトシティ形成事業				
会計	一般会計	款	8	項	4
				目	2
総合計画	まちづくりのテーマ 第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	84 頁
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備				
施策項目	魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進				
個別計画	都市計画マスタープラン				28 頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）		
	急速な人口減少による市街地や集落の人口密度の低下から、中心市街地や既存集落の生活拠点を活かした、まとまりをもった、コンパクトな集約都市を目指す。		信濃大町駅周辺の中心的拠点への緩やかな人口誘導と、各地区の既存集落を中心とした地域を生活拠点として位置付け、これらの拠点間を幹線道路や公共交通によりつながりを持った都市構造とする。		
主な業務内容	<p>立地適正化計画作成及び緑の基本計画作成業務の運営。</p> <p>①市の現状の把握 ②住民意向調査による分析 ③課題の抽出 について作成。</p> <p>○計画作成のプロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内検討委員会・外部検討委員会を各2回開催。・都市計画審議会に1回報告。</li> <li>・今後の予定 地区懇談会を6地区で8月・10月に開催予定。12月パブリックコメントの実施予定。</li> </ul> <p style="text-align: center;">令和4年4月公表</p>				

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	総事業費（決算額）			円	円
財源内訳	特定財源		円	円	5,500,000 円
	一般財源		円	円	3,667,422 円

  

活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
①	庁内検討委員会開催数	回			2		6	
②	検討委員会開催数	回			2		6	
③								

  

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
①	立地適正化計画進捗率	%			48		100	
②	緑の基本計画の進捗率	%			40		100	
③								

2. 数値で表せない効果

（指標①）市民懇談会を開催することで、市民が、当市の現状と課題を知り、まちづくりへ積極的に参加する意識向上を図りたい。

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である			
点数	3	3	3	3	3	3	18			

評価理由

急激な人口減少による市街地の人口密度の低下や、少子高齢化社会の進展等、社会情勢が大きく変化する中、「コンパクトな集約都市」の実現に向けた諸計画による具体的な方針と施策の検討が必要となる。

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口維持するため、結婚・出産・子育て世代を中心とした若い世代を呼び込むための環境づくりが必要となる。</li> <li>・低未利用地が増加する中、空き家や空き地等を有効活用した居住や都市機能の受け皿づくりが必要となる。</li> <li>・人口密度（利用圏人口）の低下によって、暮らしを支えてきた生活サービス施設の維持が困難となる。</li> </ul>
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画に即した都市の実現の為に具体的な施策の検討を行う。</li> <li>・空き家や空き地などの低未利用地を活用した施策やグリーンインフラを活用した施策の検討を行う。</li> </ul>

## 事務事業評価調書

担当課	建設水道部	建設課	農地整備係	事務事業No.	184310
事務事業名	仁科三湖周辺整備事業				
会計	一般会計	款	8	項	4
				目	3
総合計画	まちづくりのテーマ 第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画掲載頁	83
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備				
施策項目	魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進				
個別計画	仁科三湖整備計画				頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）		
	○地域要望並びに、仁科三湖整備計画に基づく市道の拡幅改良工事。		○木崎湖の眺望を望む農地内の市道拡幅により、営農や地域交通の利便性の向上と伴に、観光的利活用の推進を図る。		
主な業務内容	<当年事業> ○用地購入（市道東西海ノ口下線 14筆、地権者11名、事業費931,200円）				

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	総事業費（決算額）		円	11,494,720	円	931,200	円	931,200
財源内訳	特定財源		円	9,000,000	円		円	
	一般財源		円	2,494,720	円	931,200	円	

  

活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	木崎湖周遊道路の整備	m(%)	-	90 (18)	-	100 (38)		100 (38)
②	休憩スポットの整備	箇所	-	-	-	-		-
③								

  

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	木崎湖周遊道路の整備（L=505m）	m(%)	0 (0)	90 (18)	-	100 (38)		100 (38)
②	休憩スポットの整備	箇所	-	-	-	-		-
③								

  

2. 数値で表せない効果								
（指標①）								

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
		評価	高い	高い	高い	重複なし	高い			
点数	3	3	3	3	3	2	18			

  

評価理由	○東西海ノ口を結ぶ市道であり、地域の要望も高いと伴に、耕作放棄地も増えていることから、本事業により地域間の利便性を図り、問題の解決をしていく。
------	---

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b>
木崎湖周遊道路の整備利活用については、営農や地域交通の利便性向上が期待される一方で、観光的な利活用にも目を向ける必要があり、休憩スポットについても整備することとしているが、観光課を含めた意見調整や地域住民とのルールづくりが必要である。
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>
道路改良後の周辺の整備や観光的活用方法については、地域住民や観光に携わる関係部署並びに関係者などと相談をしながら検討をする。

## 事務事業評価調書

担当課	建設水道部	建設課	計画係	事務事業No.	184313
事務事業名	まちなかの緑地整備事業				
会計	一般会計	款	8	項	4
		目	3		
総合計画	まちづくりのテーマ 第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	85
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備				
施策項目	潤いのある公園・緑地の整備推進				
個別計画	都市計画マスタープラン				50
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）		
	中心市街地の空き地等を公園的な空間へと整備する支援や、ポケットパークなどの公共用地の緑地整備等により、中心市街地への賑わい創出や回遊による歩きたくなるまち、また、ユニバーサルデザインによる住みたくなるまちの都市環境の形成を図る。		中心市街地の低未利用地の緑化や公園的な施設整備への支援、また、既存の公共用地やポケットパークの整備を推進し、観光客をまち歩きへと誘導し、中心市街地の賑わいを創出する。		
主な業務内容	公共用地 ポケットパーク等 11か所（◎八日町1 ◎下仲町・仁科町・五日町・大黒町・白塩町・八日町2・九日町1・九日町2・駅前広場公園 ・駅前交通広場） ・緑地の整備、維持管理（WS）・修景施設の改修（UD化）225㎡ ◎5月 植栽イベントPPマリーゴールド2000株◎6月WS 藤棚の剪定実習 OWS 花育講座（市民団体主催）◎11月 WS春を待つ花壇づくり実習（市民団体主催）◎12月 WS 寄せ植え教室 藤棚の剪定実習（2） ◎修景施設の改修工事（通路のUD化改修）				

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	総事業費（決算額）			円		円	2,839,492	円
	財源内訳	特定財源		円		円	1,000,000	円
一般財源			円		円	1,839,492	円	
活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
			実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①	八日町PP改修工事	箇所			1		
	②	ワークショップ	回			3		4
③	案内サイン設置工事	箇所					1	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
			実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①							
	②							
③								
2. 数値で表せない効果								
		（指標①）緑地の整備に関心を持つ市民・民間団体などの活動が啓蒙						

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計		
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				継続	17
	評価	高い	高い	高い	一部重複	高い	適正である					
点数	3	3	3	2	3	3						
評価理由		市民団体による、ポケットパーク等の維持管理については、協働事業として実施できた。また、市民団体との共同開催によるワークショップの実施により、低未利用地や公共性のある用地を活用した民間主導型の緑地管理の機運が高まった。										

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中で、ワークショップやイベントの開催方法について検討する必要がある。</li> <li>・低未利用地の利活用において、土地所有者との合意形成を如何に得られるか検討する必要がある。</li> </ul>
改善の方法等（上記の課題をふまえ次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
官民連携により緑化活動を協働で行ってきたが、今後は民間主導となって、緑地整備に取り組める市民団体の育成が必要である。